

技術概要（様式）

技術分類	安全、環境、コスト、ICT、品質、景観																				
技術名称	Cラインブロック	担当部署	技術部																		
NETIS登録番号	QS-130014-A	担当者	相浦 敬次郎																		
社名等	エムシー産業株式会社	電話番号	0954-26-9535																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>道路は車道、歩道、排水構造物を設けるとともに車道と歩道を分離する歩車道境界ブロックが必要である。従来は車道の排水にL型側溝を設けていた、このL型側溝は6%の勾配が必要であり、その勾配による支障あった。また、歩車道境界ブロックと排水構造物の2工程に時間を要していた。この2工種を1工種に集約するとともに、勾配による支障も取り除くことが出来た。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>Cラインブロックは、歩車道境界縁石内にC型の排水路を設け、路面の雨水等を縁石内で排水し路肩の水溜りを解消します。又、土砂詰まりを防止するため、土砂流入防止対策を講じております。なお、水路内部が目視出来るので維持管理が簡単に行える構造です。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>Cラインブロックは、従来のL型側溝のエプロン部が不要となるため、工期短縮につながります。 縁石内部の水路に路面水を落とし込む為、水溜りや水はねの低減につながります。 土砂流入防止対策を講じているため、土砂詰まりが低減し排水機能が維持できます。 内部が目視でき、維持管理が簡単に行えます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車道境界ブロックを必要とする道路。 ・都市部や通勤、通学路など人が集中する地域(水溜りや水はね防止) ・自転車、バイクなどが多い道路(路肩のエプロン部勾配が不要となる為) <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国の機関</td> <td style="width: 15%;">0 件</td> <td style="width: 15%;">(九州</td> <td style="width: 15%;">0件</td> <td style="width: 15%;">、九州以外</td> <td style="width: 15%;">0件)</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>2 件</td> <td>(九州</td> <td>2件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件)</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>1 件</td> <td>(九州</td> <td>1件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件)</td> </tr> </table>			国の機関	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件)	自治体	2 件	(九州	2件	、九州以外	0件)	民間	1 件	(九州	1件	、九州以外	0件)
国の機関	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件)																
自治体	2 件	(九州	2件	、九州以外	0件)																
民間	1 件	(九州	1件	、九州以外	0件)																

6. 写真・図・表 Cラインブロック

